

学校運営計画			
教育方針	「生徒一人ひとりを大切に」することを基本に据え、「自ら学び、自ら考え、自ら行動する自立(自律)した人間を育てる」ことを教育目標とし、「自己を磨く」「人とのコミュニケーションを図る」「社会と繋がる」能力の獲得を達成し、「部活で燃えろ！進路で輝け！」を合言葉に、「全国に名高い部活動・進学校」を目指す。		
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標	
成果： 卓球部男子が北信越総体の学校対抗で初優勝、女子バスケットボール部がウィンターカップ県予選で2年連続優勝など、多くの部が成果を挙げ全国大会でも活躍した。生徒募集については、通信制課程・全日制課程ともに多くの入学者を迎えることができた。 課題： 入学者の安定的確保、家庭学習の定着、DX ハイスクールの取組、プログラム制の充実、新大専科の取組、国公立大合格者増等が課題である。	(1) 生徒指導「行動変容」の支援	①「聴く」を極め、有効な指導へ繋げる。 ②当たり前のことが当たり前のできる規範意識を醸成する。	
	(2) 募集広報活動	①全員広報で、「選ばれる学校」への転換を図る。 ②データによる現状把握に基づいた魅力化の拡充を図る。	
	(3) 進路希望実現	①キャリア教育の視点に立った進路学習を推進する。 ②一人ひとりの生徒の志を、学校全体の力で達成させる。	
	(4) 学習指導の充実	①ICT活用などで魅力ある授業を実施し、学力向上を図る。 ②コーチング的アプローチで指導の質の底上げを図る。	
	(5) 特別活動等の充実	①生徒の自主性を追求し、成就感・達成感を育む。 ②部活動を一層充実させ、地域とともに高みを目指す。	
	(6) 学校経営校内研修等	①通信制課程の安定的運営により、満足度の向上を図る。 ②研修の充実等により、意識改革と指導力の強化を図る。	
重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
(1) 生徒指導「行動変容」の支援	①「聴く」を極め、有効な指導へ繋げる。	生徒指導部	日常的な関わりを充実させ、目配り・声かけ・観察・面談を継続し、生徒との信頼関係を築く。 家庭との連携を強化し、事案発生時は迅速に連絡し、必要に応じて家庭訪問を行うなど、対面を重視した連携体制を整える。
		1 学年	生徒との日常的な対話や面談を通して、一人ひとりの思いや悩みを丁寧に把握する。
		2 学年	各クラスで学期に1回は必ず面談を行い、生徒の話聞き、助言をする。悩んでいる生徒がいたらすぐに話を聞く。
	3 学年	こまめに面談を実施し、保護者との連絡を密にして丁寧な指導を行う。 最高学年として自覚を持たせ、自主自立を目指し規則正しい生活を徹底させる。	
	②当たり前のことが当たり前のできる規範意識を醸成する。	生徒指導部	身だしなみや時間厳守、私物・貴重品の管理について日常的に指導し、基本的な生活習慣(凡事徹底)を確実に身につけさせる。 安全な情報発信能力の育成のため、SNSの適切な利用とトラブル防止に向けた定期的なHR指導や講習会を実施する。
		1 学年	時間厳守、挨拶、提出物管理など基本的な生活習慣の定着を学年全体で徹底する。
2 学年		学年集会の際に時間を守らせて整列させることを徹底する。時間を守らせることなどで規範意識を育む。	
3 学年	最高学年として手本となるよう、正しい服装の着用を徹底し、進路先を意識した行動ができるよう指導する。		
(2) 募集広報活動	①全員広報で、「選ばれる学校」への転換を図る。	広報委員会	今年度は、中学校の先生向けに「新大専科」の授業見学会を実施し、先進的な学習の取り組みを広報する。 オープンスクールでは、全職員でウェルカム感を創出すると共に、学習面でも体験型プログラムを通して魅力を伝える。 SNSや報道媒体を積極的に利用して、本校の特色や日々の学校生活の様子を発信する。
		プログラム制運営委員会	各プログラム・講座の企画、調整を行い円滑に実行できるようにする。 生徒・教員向けのアンケートを通じ、満足度などを数値化し、課題を発見、改善する。
	②データによる現状把握に基づいた魅力化の拡充を図る。	教務部	本校の魅力を最大限に外部へ発信するために、広報委員会と連携を図る。
		進路指導部	過去の進学・就職先のデータを数値や行先ごとにまとめ、広報活動に活用する。
(3) 進路希望実現	①キャリア教育の視点に立った進路学習を推進する。	進路指導部	生徒自らの興味・関心を軸に課題を発見し、解決を目指す中で身に着けた資質・能力を次の学びにつなげる。 キャリア教育の視点に立って進路活動に取り組みせ、生徒の成長を促すとともに学力向上に導く。
		1 学年	総合的な探究の時間や進路行事を活用し、将来について考える機会を充実させる。
	2 学年	新大専科などの、総合的な探究の時間を活用し、様々な考えに触れ進路選択において多角的な考えができるよう指導する。	
	3 学年	自分の将来のビジョンを持たせ、それを意識しながら具体的な進路活動に取り組みさせる。	

			「自分らしい生き方を実現するための力」を育成するために、学校行事に主体的に取り組ませる。		
	②一人ひとりの生徒の志を、学校全体の力で達成させる。	進路指導部	進路指導部ニュース等の進路情報や自身の活動の的確な振り返りにより、自身のより良い生き方の模索を図る。 模擬試験や取り組みの振り返りを行い、進路実現できる力を養い、希望進路を安易に下げさせない指導を行う。		
		1 学年	幅広い進路選択を可能にするために、定期的な面談や学習状況の確認を通して、個に応じた助言や支援を行う。		
		2 学年	進路情報を自ら収集させることにより進路意識を向上させ、助言をしながら具体的な進路志望を早期に設定させる。		
		3 学年	諦めることなく、更に上を目指す意識を持たせ、自ら希望した目標を全員が達成できるよう支援する。 高い志を堅持させ、第一志望を貫けるように支援し、大学等進学率60%以上、就職内定率100%を目指す。		
(4) 学習指導の充実	①ICT活用などで魅力ある授業を実施し、学力向上を図る。	教務部	全学年でタブレット端末を活用し、自分の意見や他者の考えなどを共有し合う場を設定し、使うICTから生かすICTを目指す。		
		国語	スタディサプリを活用して課題を配信し、基礎学力の向上を図るとともに、考査にも出題することで、評価との一体化を行う。		
		数学	電子黒板やタブレット端末、学習支援ソフトを活用し、生徒が主体的に学習に取り組める授業づくりを推進する。		
		英語	ICT教材を積極的に用いることにより、単語・熟語の習得をはじめ、英文読解や英作文に対する苦手意識を軽減させ、積極的に英語学習に取り組めるよう指導を行う。		
		DX <small>ハイスクール運営委員会</small>	情報Ⅱ等で最先端テクノロジーを用いた実習を行うことにより、生徒の興味・関心等を踏まえた学びを実現させる。		
	②コーチング的アプローチで指導の質の底上げを図る。	教務部	各種検定の受験を促し、知識・技能を身につける場や学習意欲を高める指導を行う。		
		国語	論説文を扱う科目については、小論文や志望理由書につながるよう、意識した授業展開を行う。		
		数学	問いかけや対話を通じて生徒の主体性を引き出し学びの深化を図る。		
		英語	一方的に説明するのではなく、選択式で問いを投げかけ生徒の気づきから語彙や基本英文法を定着させ、英作文などを通して表現する力を養い、生徒自身で授業の理解度を自己評価させる。		
		1 学年	成果だけでなく過程を認める声掛けを意識し、生徒の自己肯定感を高める。		
		2 学年	キャリアナビの「探究活動」を利用するなかで、指示や提案をしながら主体的に答えを引き出すように指導する。		
		3 学年	課題意識を明確に持たせて考えさせ、進路実現への目標を共有し協力体制を作って指導する。		
(5) 特別活動等の充実	①生徒の自主性を追求し、達成感・達成感を育む。	生徒指導部	生徒が企画立案から運営まで主体的に関わる体制を整え、役割分担を明確にした活動を推進する。 自ら考え行動する機会を確保するとともに、活動成果を外部に発信する。		
	②部活動を一層充実させ、地域とともに高みを目指す。	生徒指導部	各部活動が県内トップレベルの競技成績を維持するとともに、全国大会においても継続的に活躍できるように強化を図る。 地域団体や大学等と積極的に連携するなどして、活動環境を整備する。 専門的指導の充実と活動内容の多様化を図るとともに、高度な技能や多様な活動に触れる機会を確保し生徒の技能と意欲の向上を促進する。		
(6) 学校経営 校内研修等	①通信制課程の安定的運営により、満足度の向上を図る。	通信制教務室	スクーリング運営マニュアルに基づいた統一ラインでの安心・安全なスクーリング運営と、確実な単位修得・卒業支援の実施。 学則変更の確実な申請準備と確実な実施。(CLAST・日本福祉大学等) 認知拡大の推進のため、担当者を中心とした募集活動の運営により、定員120名の充足。		
		教務部	全職員がICTを活用した相互授業を実践できるように、研修会を実施する。		
		生徒指導部	実践的研修(事例研究)や救急救命講習、SNS対応研修等の充実を図るとともに、生徒理解に関する研修を実施する。		
	②研修の充実等により、意識改革と指導力の強化を図る。	進路指導部	小論文や志望理由書、最新の進学研修会などを企画し、運営することによって全職員での進路指導体制を構築する。		
成果				総合評価	

※評価 A：十分達成 B：概ね達成 C：達成不十分 D：未達成